



日本共産党 京都市議員  
ひぐち英明  
議会報告

みなさんのご意見・ご要望をお寄せください!

# こんにちは ひぐち英明です

第348号 2019年1月5日

連絡先：日本共産党左京地区委員会 Tel.761-6341

HP: ひぐち英明

検索

: 左京生活相談所

Tel.781-6622

≡≡≡ 新しい年が明けました 本年もよろしくお祈りします ≡≡≡

## 京都市は低賃金促進路線からの転換を 賃上げしてこそ経済が活性化する

## 若者を戦場に送るな

～国だけでなく京都市に対しても求めることが必要～

### ■ 京建労での経験生かして政策提案し実現勝ち取る

私は、16年前に市議員に当選させていただくまでは、建築の労働組合・京建労の職員として、賃金の引き上げや、地元中小零細業者の仕事の確保のための運動を続けてきました。

その経験から、議会において繰り返し現場労働者の賃金引き上げ、中小業者の仕事の支援策を提案してきました。これらは京都経済の活性化のためにも不可欠な課題です。

毎月19日には「安倍改憲NO! 左京市民アクション」が「左京みんなのデモ」に取り組んでいます。



左京市民アクション結成1周年のついで

わたしも「憲法

を生かした政治を実現しよう」と、みなさんと一緒に百万遍から市役所まで歩いています。また、改憲NOの意思表示である「3000万人署名」の取り組みも全国で進められ、すでに1800万人の方からの賛同を得ているとの報告もされています。こうした市民の運動が大きな世論をつくり、安倍自公政権の憲法改悪のたくらみにストップをかけています。

### ■ 若者を戦場に送るな

安保法制=戦争法のもとで、自衛隊が地球の裏側まで行き、戦争の中で殺し殺される可能性が出てきています。市長が18歳と22歳の市民の名簿を自衛隊に提供する方針を示していることは、市内の青年を戦場に送ることにつながります。

「若者を戦場に送るな」の言葉を、自公政権だけでなく、京都市に対して求めて行く必要があります。

## 写真トピックス

雪景色の花背で  
街頭から市政報告宣伝

京建労左京支部シニアの会のおもちつき



議会論戦をする中で、住宅リフォーム助成制度は市内事業者に経済効果があることを認める答弁を引き出し、耐震リフォーム助成制度を創設させることができました。また、公共事業を市内事業者へ発注することを促す公契約基本条例を創設させることもできました。

こうした成果をさらに広げ、今度は、公共事業の現場で働く労働者の賃金を引き上げる条例の創設など、京都市ができることはすべて行わせる必要があります。

その仕事を引き続きさせていただくためにも、今年は今まで以上のご支援をよろしくお祈りいたします。

### ■ 低賃金前提の民間委託方針が破たん

さて、京都市バスの運転手さんの半分は、すでに民間バス会社に委託(管理の受委託)されています。ところが、民間バス会社2社が「運転手を確保できない」との理由で、市バスの委託から撤退する意向を示しており、市バスの路線を今後維持できるかどうか、大変憂慮すべき事態となっています。また、労働環境が悪いため、過労が原因と思われる事故も発生しており、市民の命と安全すら心配される事態も進んでいます。

結局、京都市のコスト削減の方針が、委託先の民間労働者を低賃金に追い込み、さらに、市民の命と安全を脅かし、市バスの路線の維持も危うくしています。

議会では共産党だけが一貫して市バスの民間委託をやめるよう求めてきています。市内の労働者の賃金を引き上げるためにも、市バスの路線を維持・拡充するためにも、共産党を強く大きくしてください。

## ○ ひぐち英明 ホット・コム ミニ版 ○

長男(高校3年)も次女(中学2年)もコップを片付ける習慣がありません。居間や台所のいたるところに使ったままのコップが置かれており、お茶などが入ったまま放置されていることも日常茶飯事です。

先日は、あちこちに置かれているコップを台所のシンクに集めたところ、その数10個。いったい我が家は何人家族なのかとため息です。現在、長女(大学1年)が冬休みで帰省しており、コップの数に拍車がかかっています。